

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ
黒田 禎一郎

2020年8月30日（日）

主 題：「新たな日常へ」、スイッチオン！

— 2つの習性 —

テキスト：マタイ福音書10章16節

はじめに

・ 例話

「コロナ・パンデミック」は、今では大変な被害をもたらしています。

現在、世界では2千390万人以上が感染者です。死者数は82万人以上を超えました（8/28）。

日本でも各地でクラスターが発生し、感染者、死者が出ています。

・ 「コロナ・ウイルス」は何をもたらしたのでしょうか？

命の危険から始まり、医療現場は疲弊しています。小さなウイルスによって、社会構造は大きく変わりました。東京オリンピックも延期となりました。そして何よりも経済危機を迎えてしまい、失業、倒産をもたらしました。大変な事態となりました。また教育界にも大きな影響をもたらしました。

・ 大きな問題の1つは、これからの先が見えないことです。不透明社会だ！

今の日本社会で、多数の人々が問題と課題をかかえ、どう生きてらよいか頭を抱えているのが現実です。こんな言葉が聞かれます。

「コロナ疲れ」、「コロナ・ストレス」、「コロナ倒産」、「コロナ疎開」、「コロナ離婚」

・ コロナ禍はまだまだ収束せず、これからも続くでしょう。そして社会は、どうなるか不透明です。

・ 私たちは、どう生きれば良いのでしょうか・・・。

聖書は次のように教えています。マタイ福音書10章

10:16 いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。

・ イエス様は愛する弟子たちを、送り出すにあたり、「狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。」と言われました。弟子たちがこれから遣わされるところでは、憎しみがあり、困難があり、また迫害がおこると教えられたのです。

・ そこで、弟子たちに「蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい」と教えられました。大変な時代に生きるにあたり、イエス様は弟子たちの生き方を教えられました。これは今から約2千年前のことです。しかし、現代も大きく変わることはありません。狼がたくさんいる時代ではないのでしょうか。

イエス様を信じる私たちが、神様にあって「羊」と自覚するならば、そこには狼がいるのです。どう生きればよいのでしょうか？

・ 神様は今日のテキストから、私たちの大切な生き方について教えてくださっています。3点

大切なポイント

1. 蛇のように賢く生きる

イエス様のことば：「蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい」

- ・まず、蛇のように賢く生きることを教えられました。これは、どういう意味でしょうか。それは蛇のように、「注意を払って」生きる生活が必要であることです。{例 話}
- ・話は変わりますが、私はこんな話を耳にしたことがあります。
昔、賢い王が4人の王子に人生で大切なことを教えるために、こういうことをしました。一番年長の王子を、マンゴーの果樹園に向かわせました。
- ・春になって2番目の王子を、夏には3番目の王子、秋には末の王子を同じく果樹園に向かわせました。末の王子が戻ると、王は皆に見たものを尋ねました。
第1王子は、樹は枯れていたと言いました。
第2王子は、緑の葉が茂っていたと言いました。
第3王子は、花が満開であったと言いました。
第4王子は、実がなっていたと言いました。
- ・これらの報告を聞いた王は、「君たちが見たものを全て事実である。季節が異なっているがゆえに、異なるものが見えたのだ。」

皆さん！ もうお分かりでしょうね。この教訓は、物の見方は各人各様で、同じ物についても様々な説明をする可能性が高いことを示しています。

- ・意識を高めるならば、単に見たり聞いたりするだけではなく、その違いが分かるということです。この教訓は本当の意味で、「注意を払う」とは、そういうことであることを教えてくれています。
- ・ところで、私たちが先行き不透明な時代に賢く生きるには、イエスは「蛇のように賢く」生きる必要があると教えられました。聖書に一番はじめに出てくる蛇については、次のように書かれています。創世記

3:1 さて蛇は、神である【主】が造られた野の生き物のうちで、ほかのどれよりも賢かった。

蛇は女に言った。「園の木のどれからも食べてはならないと、神は本当に言われたのですか。」

- ・蛇は狡猾（悪賢いこと、こすいこと）な生き物です。イエス様は、なぜ人類を悪の道へ落とし入れたような「蛇」を挙げたのでしょうか。⇒
弟子たちが遣わされところは、それほど危険度が高いところであるからです。
- ・では、どうすれば「蛇のように賢く」生きることができるのでしょうか。
それは本当の意味で、「注意を払う」生き方をすることです。

{例 話} 本：「すごい『議論』力！」Robert Meyer 著 三笠書房

この本には、次のような心がけが大切とあります。

① 「気配」に注目する

- ・態度や声には、その人の「気配」が表れるものです。自分の言葉を相手がどのように受けているかを知るカギの1つは、相手の体の動きにあります。
- ・座った時に、こちらと正対しているか。これは自信の表れですが、今のコロナ禍では控える必用があります。斜めを向いているならば、打ち解けていません。胸の前で腕を組んでいるならば、警戒の表れでしょう。これらの気配を読むことで、相手の情報を知ることができます。

② 「メッセージ」を読む

- ・人の言葉の裏には隠れた「メッセージ」があるとされます。本音と建前を見抜く力は必要です。相手の言うことを額面どおりに信じるならば、大変なことになりかねません。

③ 「何を重要視しているか」に注目

- ・自分にとってはさほど重要ではないことが、他者にとっては重要な場合があります。目と耳を最大限に活用し、相手にとって何が決定的に重要なのかを探っていけば、友好的な会話になるでしょう。

④ 「影響下行動の原則」を頭に入れておく

- ・人は育った時代や環境に大きく影響され、支配されるという概念があります。これは人を判断する場合、頭に入れておくべきことです。「影響下行動の原則」が頭にあれば、独善的な見方に陥ったり、色眼鏡で見ることは避けられるでしょう。

*愛する皆さん！ 「蛇のように賢く」生きるとは。実はこのように「注意を払って」生きることです。なぜなら、蛇はこう言ったからです。

3:1 蛇は女に言った。「園の木のどれからも食べてはならないと、神は本当に言われたのですか。」

2. 鳩のように素直に生きる

・イエス様のことば：「蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい」

- ・鳩にはいろいろな習性があります。例えば、長距離を帰巢する習性（太陽コンパス説、磁力説、視力説など、まだ未解明）があります。
- ・鳩は3つの面に囲まれたところに巣を作る習性があります。

マンションの隅、神社の角などコーナー

- ・巣を作る習性には3つの条件があります。

① 外敵のいない所、②餌のある所、③水のある所

居住群をつくる：数羽、数10羽、数100羽と。すなわち、一羽で生きるのではなく、群れで生きる動物です。鳩は子どものように、依存性があります。

- ・イエス様は「鳩のように素直に」と言われましたが、鳩の性格が素直であるというより、私は依存する素直さではないかと思えます。依存する素直さ、それは大人ではなく子どもに見られます。
- ・イエス様はある時、子どもたちを評価されて次のように言われました。

マタイ福音書18章

18:1 そのとき、弟子たちがイエスのところに来て言った。「天の御国では、いったいだれが一番偉いのですか。」

18:2 イエスは一人の子どもを呼び寄せ、彼らの真ん中に立たせて、

18:3 こう言われた。「まことに、あなたがたに言います。向きを変えて子どもたちのようにならなければ、決して天の御国に入れません。

18:4 ですから、だれでもこの子どものように自分を低くする人が、天の御国で一番偉いのです。

- ・天の御国で一番偉い人は、子どものように自分を低くする人です(18:4)。子どもの魅力の1つは、無力でありますから、依存する素直さがあることです。大人はそうではありません。子どものように、なかなか素直にはなれません。
- ・鳩も群れを作り、互いに依存性をもつ習性があります。それが「鳩のような素直さ」であると思

- います。人間も本来、1人で生きるように造られませんでした。神の前に生きるよう造られたのです。しかし、神の前で罪を犯した結果、迷いの壺に入り、迷路の人生をあることになりました。
- 神様は、そんな私たちをイエス・キリストを通して、お救いくださいました。イエス様は、私たちが子どものような素直で、鳩のように素直になることを勧められました。ここに逆説的真理があります。
 - 世の中は、そんな弱々しい姿を出したら負けてしまう、と言います。人生は勝ち組みに入らなければいけない、と教えています。いいえ、聖書はその逆説を教えています。**激しい戦いがある！**
→ ストレスへ → 疲れへと。
 - 結局のところ、背伸びをして実像以上に自分を見せるようなことができて、それが真の姿ではないことが知られると、人は去って行きます。本当の信頼を得る生き方は、正直、素直さをもって歩むことです。
 - 話を戻しましょう。イエス様は言われました。
「蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい」
それでは、私たちはどう生きればよいのでしょうか。

3. 大切なことはバランス性

イエスのことば：「蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい」

- ここで少しまとめてみましょう。
蛇のように賢く ⇒ 蛇の習性にみる賢さ（生きるために人を読む力）
鳩のように素直 ⇒ 鳩の習性にみる依存性（子が親に素直に依存する力）
- ところが、私たちは往々にして、蛇のような賢さ、鳩のような素直さに欠けるものです。その両方を備えた人は少数でしょう。イエス様は言われました。
マタイ福音書 10章
10:16 いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。
- もうお分かりでしょう。私たちに必要なことは、蛇と鳩がもつ「習性」であります。2つのバランスが取れた生き方をすることです。
- この「2つの習性」を備えた人は、イエス・キリスト様以外にはおられません。マタイ 11章
11:29 わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。
- では、どうすればイエス様に学ぶことができるのでしょうか。それはイエスの歩まれた道を学ぶことです。日々のデボーションが重要です。生ける神様の前に心静め、聖書を読み、神との祈りの対話をする時間を持つことです。イエス様との交わりが大切です。
- イエス様を師（模範）として仰ぎ、イエス様に頼り、イエス様の言われたことに聞き従うことです。イエス様にならってこそ、羊は狼の中に置かれても生きることができます。すなわち、良き羊飼いであるイエス様は、いのちをかけてお守りくださるかです。

ま と め

主 題：「新たな日常へ」、スイッチオン！

—2つの習性—

- ・今日、私たちは「コロナ・パンデミック」の中で、どのように生きるべきか大切なことを学びました。コロナ禍は、まだしばらくは続くものと思われます。戦いはまだまだ続きそうです。しかし、イエス様のお従いするならば、大丈夫です。
- ・聖書は「**世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。**」（Iヨハネ5:5）、と述べています。
- ・最後に、今日のみことばをお読みしましょう。

10:16 いいですか。わたしは狼の中に羊を送り出すようにして、あなたがたを遣わします。ですから、蛇のように賢く、鳩のように素直でありなさい。 マタイ

* God bless you !